

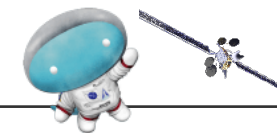
証券コード：9412

スカパーJSAT株式会社



2027年3月期 第1四半期 決算説明会

2026年8月6日開催

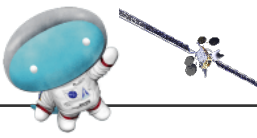


本説明資料に記載されている予想、戦略、経営方針、目標その他の歴史的事実でない記述は、将来の見通しに関するものであり、本説明資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

これらの記述には、さまざまなリスクや不確実性が内在しており、実際の業績等は、経済情勢、市場動向、競争環境、法令・規制、事業投資、情報セキュリティ、通信衛星の調達・運用、放送・配信事業の事業性その他の要因により、当該記述と大きく異なる可能性があります。

また、本説明資料に含まれる当社及び当社グループ以外に関する情報は、公開情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性又は適切性を保証するものではありません。

当社は、法令で求められる場合を除き、本説明資料に含まれる将来の見通しに関する記述を更新又は修正する義務を負うものではありません。



宇宙・メディア事業ともに順調に進捗
連結純利益82億円（前年同期比150%）

<宇宙事業>

「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」を含む
安全保障領域の取引拡大

<メディア事業>

光アライアンス事業拡大により増収増益基調へ



2027年3月期 第1四半期連結業績概要

連結業績概況

■ 宇宙・メディア両事業とも計画通り増収
営業収益334億円・連結純利益82億円と増収増益

(億円)	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減 (増減率)	2026年度 通期業績予想	通期予想 進捗率
営業収益	298	334	+36 (+12.0%)	1,350	24.7%
営業利益	80	109	+29 (+36.0%)	390	27.9%
連結純利益*1	55	82	+27 (+49.6%)	270	30.5%
EBITDA*2	118	147	+29 (+24.1%)	540	27.2%

*1. 「連結純利益」 = 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

*2. 「EBITDA」 = 営業利益 + 減価償却費

■ 「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」の開始等、 スペースインテリジェンス事業が拡大し、増収増益

(億円)	2025年度 1Q (組替後*3)	2026年度 1Q	増減 (増減率)	増減要因
営業収益*1	145	175	+30 (+20.7%)	(営業収益 +30) スペースインテリジェンス事業 +22 グローバル・モバイル分野 +5 為替影響 +3
営業費用	92	111	+18 (+20.1%)	(営業費用 +18) 増収に伴う原価増 +15 減価償却費 +1
営業利益*1	53	64	+11 (+21.8%)	
セグメント利益*2	36	46	+10 (+27.3%)	

*1. セグメント間の内部取引を含む

*2. セグメント利益は「純利益」ベースの数値

*3. 2026年度の組織変更を反映し、映像ネットワーク関連サービスを「宇宙事業」から「メディア事業」へ組み替えて算出した数値

- 光再送信サービスの値上げ・接続世帯数の拡大により、増収増益基調へ
- オペレーションの最適化がさらに進捗し、営業利益率は17%から27%へ向上

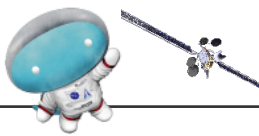
(億円)	2025年度 1Q (組替後*4)	2026年度 1Q	増減 (増減率)	増減要因
営業収益	169	173	+4 (2.4%)	(営業収益 +4) 視聴料・業務手数料・基本料収入 △6 光再送信サービス関連収入*3 +11
営業費用	140	126	△13 (△9.6%)	(営業費用 △13) 「ブンデスリーガ」放送・配信終了 △5 コネクテッドTV事業関連費 △2 顧客対応・管理費 △2 減価償却費 △1
営業利益*1	29	47	+17 (+59.3%)	
セグメント利益*2	20	33	+13 (+62.4%)	

*1. セグメント間の内部取引を含む

*2. セグメント利益は「純利益」ベースの数値

*3. 光アライアンス事業のうち、光再送信サービス収入（FTTH収入から名称変更）とテレビ接続工事収入

*4. 2026年度の組織変更を反映し、映像ネットワーク関連サービスを「宇宙事業」から「メディア事業」へ組み替えて算出した数値



- 営業活動を通じた確かなキャッシュ創出力をもとに、
Kaバンド通信衛星「HYLAS 3」の調達等、積極的な投資を計画通り実行
- 市場環境や財務状況を踏まえ、必要に応じて外部借入による資金調達を実施

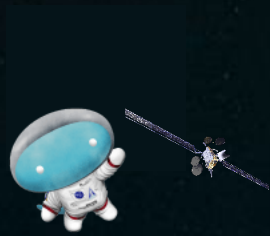
連結キャッシュ・フロー

(億円)	2025年度 1Q	2026年度 1Q	2026年度 見込
営業活動	152	167	540
投資活動	△253	△186	△470
内、設備・事業投資	△60	△184	△700
フリー・ キャッシュ・フロー*	△100	△20	+70
財務活動	△194	△128	△230

*営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

連結財政状態

(億円)	2025年度 末	2026年度 1Q	2026年度 見込
資産	4,078	4,016	4,130
内、現金及び現金同等物	576	430	420
負債	1,007	921	930
内、有利子負債	324	263	220
株主資本	2,867	2,884	3,000



宇宙事業

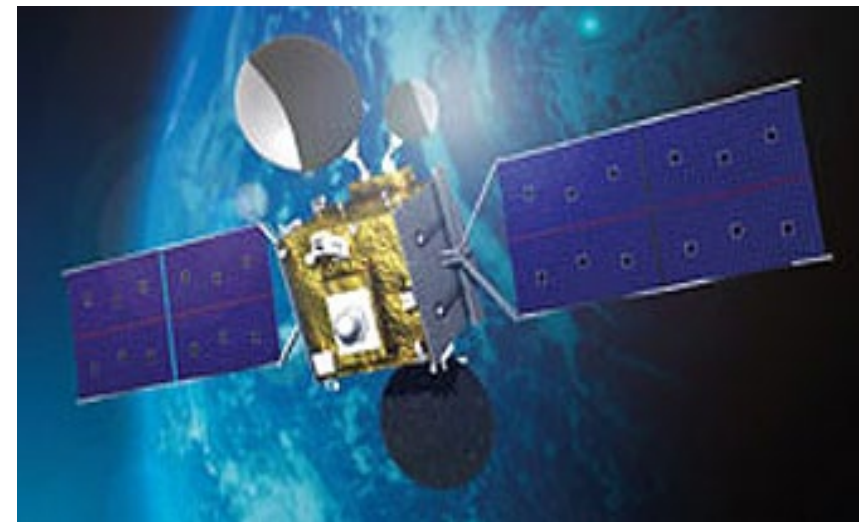
「HYLAS 3」衛星買収により、安全保障向けKaバンド*通信サービスに本格参入

■ 戦略

Ka/Kuのマルチバンドによる基盤強化と収益拡大に向け、
JSAT-31/32稼働に先駆け、2027年度より東アジアでの商権確保

■ HYLAS 3 競争優位

- Kaバンド広帯域による大容量通信
- マルチスポットビームによる広域サービス
- 需要に応じた柔軟なカバレッジ変更



HYLAS 3 イメージ
JSAT-144D としてサービス提供

Kaバンド活用
安全保障収益ターゲット 累計**200億円以上/10年**

※Kaバンドは広い帯域を活用できるため、船舶や航空機をはじめとする移動体などの大容量通信に適しています。

■ 地上局活用によるサービス拡大

収益基盤強化

- ・ 自社衛星フリート拡大に併せた地上局の強化
… Superbird-9/JSAT-31/JSAT-32/JSAT-144D (HYLAS 3)

事業の進化

新規領域の開拓

- ・ 自社地球観測衛星保有に伴う地上局の整備 … Pelican
- ・ 衛星運用受託サービス … 防衛省/JAXA/QPS研究所 等
- ・ 地上局サービス … JAXA/NASA/ ispace
- ・ 業務提携によるグローバル対応 … KSAT

■ 拠点の新設・拡張

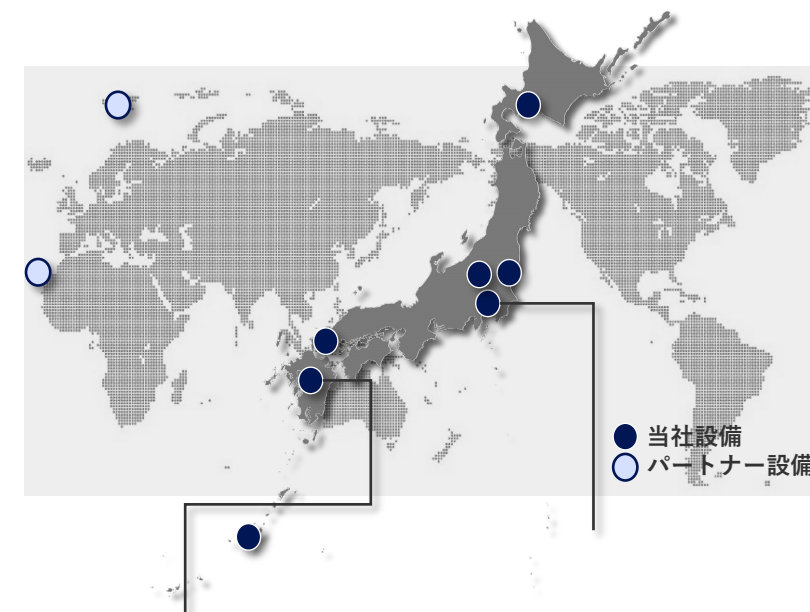
拠点数 **6** ⇒ **7** + 拠点拡張
(熊本) (横浜/山口/北海道/沖縄)

敷地面積 **14万m²** ⇒ **23万m²**

投資総額 (FY2024 - FY2030)

400億円超

※土地・建物付帯・アンテナ設備への投資額



熊本ネットワーク
管制センター
建設予定地



横浜衛星管制センター
新局舎完成予想図

収益基盤強化

事業の進化

新規領域の開拓



メディア事業

スカパー東京メディアセンター活用で、配信事業者等向けサービスによる収益創出

2026年度営業収益 75億円 → 2030年度 100億円を目指す

収益基盤強化

事業の進化

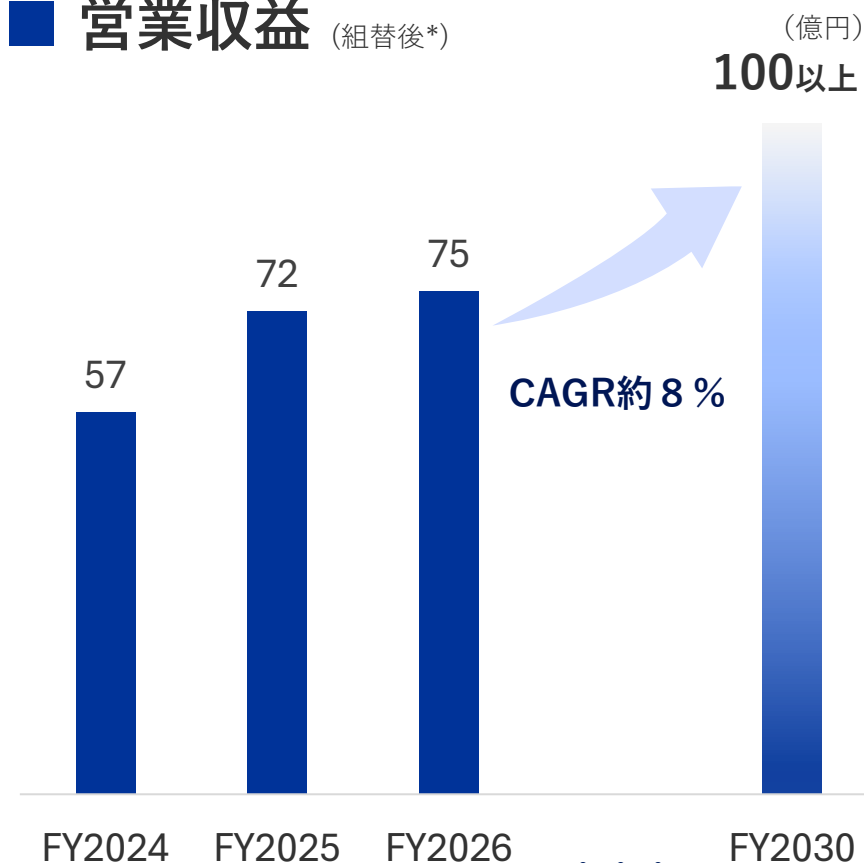
■ 競争優位

設備	高品質な設備活用(大規模投資不要)
技術	放送・配信に対応した技術基盤
実績	豊富なライブ中継等の映像伝送実績

■ 実績

- ・ DAZN、ABEMA等の配信事業者
- ・ スポーツ・エンタメ関連事業者
- ・ 公営競技運営事業者
- ・ 会員組織・団体

■ 営業収益 (組替後*)



* 2026年度に実施した宇宙事業からメディア事業への一部サービス移管に伴う組替を反映した数値

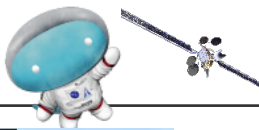


参考資料

下記資料については[リンク先（下線）](#)よりご覧いただけます

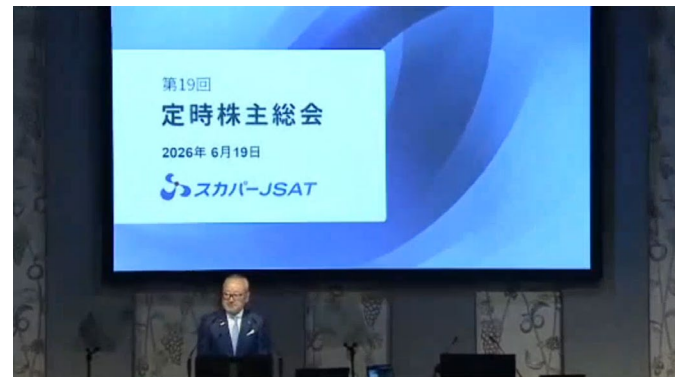
- ・ [スカパーJSATガイド](#)：経営戦略や財務・業績、事業概要 等
- ・ [決算短信・決算短信補足資料、財務ハイライト（Excel）](#)
- ・ [統合報告書2025](#)
- ・ [IRイベント資料](#)





アナリスト・投資家・株主

個別面談：91件
証券会社主催スモールMTG：2回
海外投資家向け証券会社カンファレンス：1回
個人向け会社説明会：1回
定時株主総会



主なテーマ・関心事項

- ・ 株価過熱感・急落、PER上昇に対する会社評価
- ・ 当期業績ガイダンスの確度、「2030年度目指す姿」の実現性と変動要因
- ・ 低軌道衛星通信サービスとの競合状況、グローバル・モバイル分野の成長懸念
- ・ スペースインテリジェンス事業の民間需要と海外展開の課題と実現性
- ・ 光アライアンス事業値上げ効果、メディアソリューション事業の将来性

社長・CFO、広報IR部

取締役会
年4回 IR活動報告

宇宙関連企業の株価上昇に関する背景や、直近の下落要因も踏まえた今後の見通しに加え、2030年以降を見据えた成長戦略の具体化の推進が重要であるとの意見が交わされた。

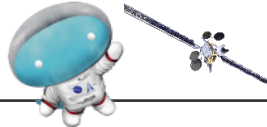
企業価値向上に向けた対応

- ・ 2026年8月28日～8月29日 日経東証IRフェア出展
8月28日(金)11:00：CFO久保による会社説明会を予定★
- ・ SPEXA 2026、SPACETIDE 2026への出展✓
- ・ WEBサイトアクセシビリティ改善★
- ・ 国内外カンファレンス積極参加★
- ・ スカパー東京メディアセンター見学会の開催検討★ 等

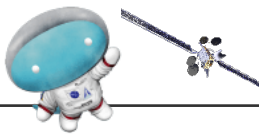
✓実施済み
★2Q計画

2030年度 目指す姿

[参照]2026年3月期通期決算説明会資料



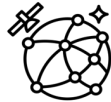
(億円) (組替後*1) *1. 両事業の実質的な成長性を測るため、2024年度、2025年度は組替後の数値(概算)				2024年度	2025年度	2026年度 (予想)	2030年度 (目標)		
営業収益				1,237	1,276	1,350	1,850		
	宇宙				619	658	725	1,230	
		(内、安全保障)			100	139	200	500	
		通信関連事業				575	593	603	800
			(内、安全保障)			63	78	84	200
		スペースインテリジェンス事業			38	64	120	380	
		(内、安全保障)			36	61	113	250	
		開拓領域				6	1	2	60
			(内、安全保障)			1	1	2	50
	メディア				683	679	680	660	
放送関連 (放送・メディアソリューション・開拓領域他含む)			563	539	510	460			
光アライアンス事業			120	140	170	200			
連結純利益				191	233	270	350		
	宇宙				147	153	170	250	
		通信関連事業			140	164	152	110	
		スペースインテリジェンス事業			20	17	32	130	
		開拓領域			△13	△28	△14	10	
	メディア				49	85	105	100	
		放送関連 (放送・メディアソリューション・開拓領域他含む)			42	73	80	60	
		光アライアンス事業			7	12	25	40	
EBITDA*2	*2. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費			458	507	540	850		
	宇宙			336	341	369	700		
	メディア			129	174	191	185		



- 2025年度におけるScope1、2のカーボンニュートラル達成（7月）
- 世界的なESG投資指数「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に継続選定（7月）

マテリアリティ

- ・ 9つの重要課題テーマと20個のマテリアリティを、「5つのマテリアリティ」に集約



環境

- ・ パリ協定が定める水準に整合したGHG(温室効果ガス)排出削減目標を策定中

社会

- ・ 変革を推進する人財の創出・活躍を目的とした人事制度改定と能力開発プログラム
- ・ 健康経営戦略マップの策定(当社健康課題を踏まえた、健康経営目標・方針の明確化)

ガバナンス

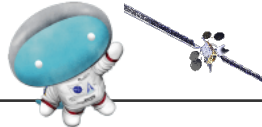
- ・ 取締役会の実効性を継続強化
- ・ 資本コストや株価を意識した経営推進（投資管理、IR活動の充実）

※詳細は、グループWEBサイト>サステナビリティページ参照 <<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>>

※ESGデータの2025年度実績は7月に公開済み（一部のデータは2026年8月に公開予定） <https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/library/data_e/>

(億円)	2025年度 実績	2026年度 予想	増減率
営業収益	1,276	1,350	+5.8%
営業利益	353	390	+10.6%
経常利益	354	390	+10.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益	233	270	+15.8%
EBITDA*	507	540	+6.4%

*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費



宇宙事業

安全保障の成長を主軸に、増収増益を見込む
※2026年度から、映像ネットワーク関連サービスをメディア事業へ移管

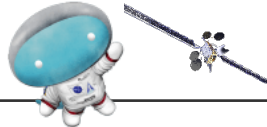
メディア事業

光アライアンス事業の拡大により放送事業の減収幅を抑え、増収増益を目指す

(億円)		2025年度 実績	2025年度 組替後数値*(a)	2026年度 業績予想 (b)	増減 (b)-(a)
営業収益		1,276	1,276	1,350	+74
	宇宙	698	658	725	+67
	メディア	643	679	680	+1
営業利益		353	353	390	+37
	宇宙	241	231	255	+24
	メディア	119	130	150	+20
連結純利益		233	233	270	+37
	宇宙	161	153	170	+17
	メディア	77	85	105	+20

*両事業の実質的な成長性を測るため、2025年度は組替後の数値(概算)

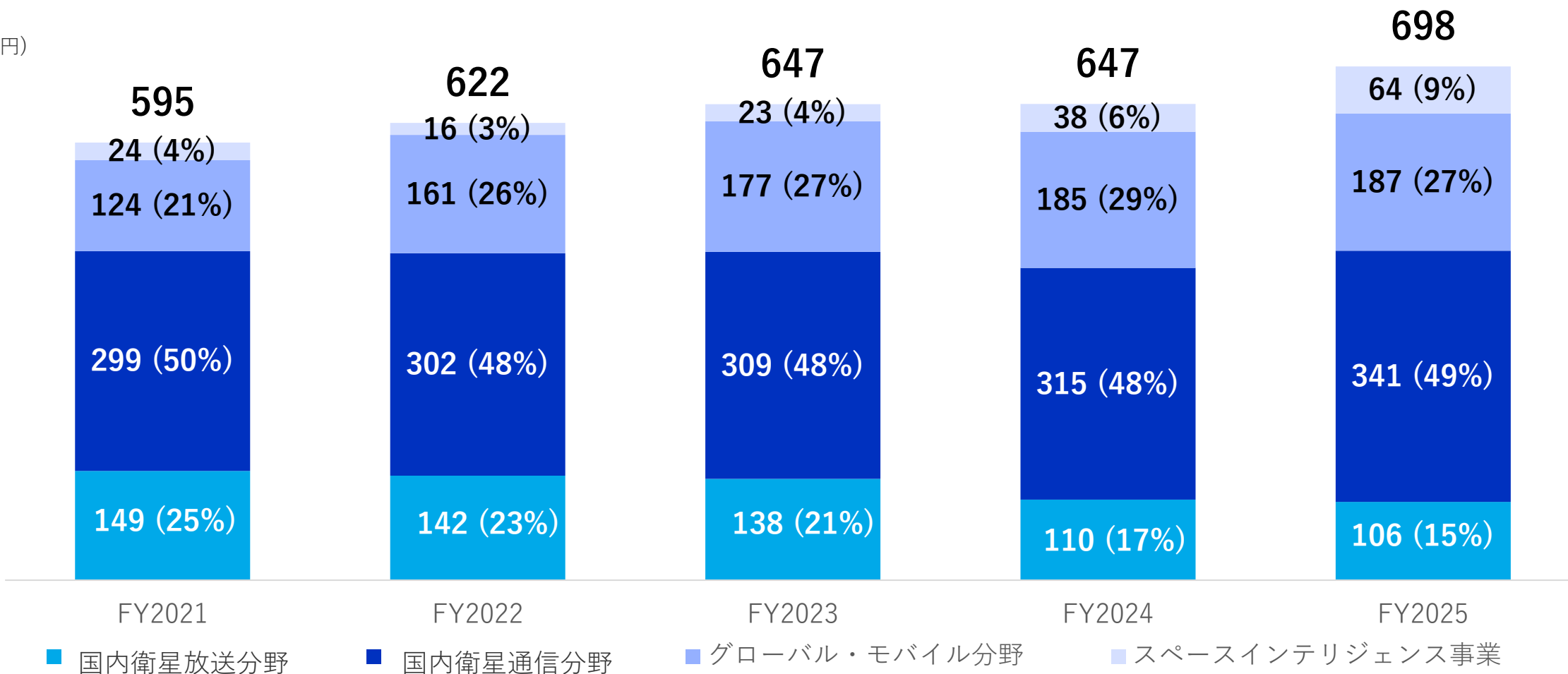
2026年度 セグメント別前年同期比較（組替後*3）



(億円)		FY2026 1Q (前年同期比)	主な増減要因	1Q
宇宙事業	営業収益*1	175 (+30)	国内衛星通信分野	+0
			放送トラポン収入	△1
			グローバル・モバイル分野	+9
			スペースインテリジェンス事業	+22
	営業費用	111 (+18)	増収に伴う原価増	+15
			減価償却費	+1
			Orbital Lasers費用	△2
	営業利益*1	64 (+11)		
メディア事業	セグメント利益*2	46 (+10)		
	営業収益*1	173 (+4)	視聴料・業務手数料・基本料収入	△6
			光再送信サービス収入	+10
	営業費用	126 (△13)	「ブンデスリーガ」放送・配信終了	△5
			広告宣伝・販促関連費	△0
			減価償却費	△1
	営業利益*1	47 (+17)		
	セグメント利益*2	33 (+13)		

*1. セグメント間の内部取引を含む。
*2. セグメント利益は「純利益」ベースの数値
*3. 2026年度の組織変更を反映し、映像ネットワーク関連サービスを「宇宙事業」から「メディア事業」へ組み替えて算出した数値

(億円)



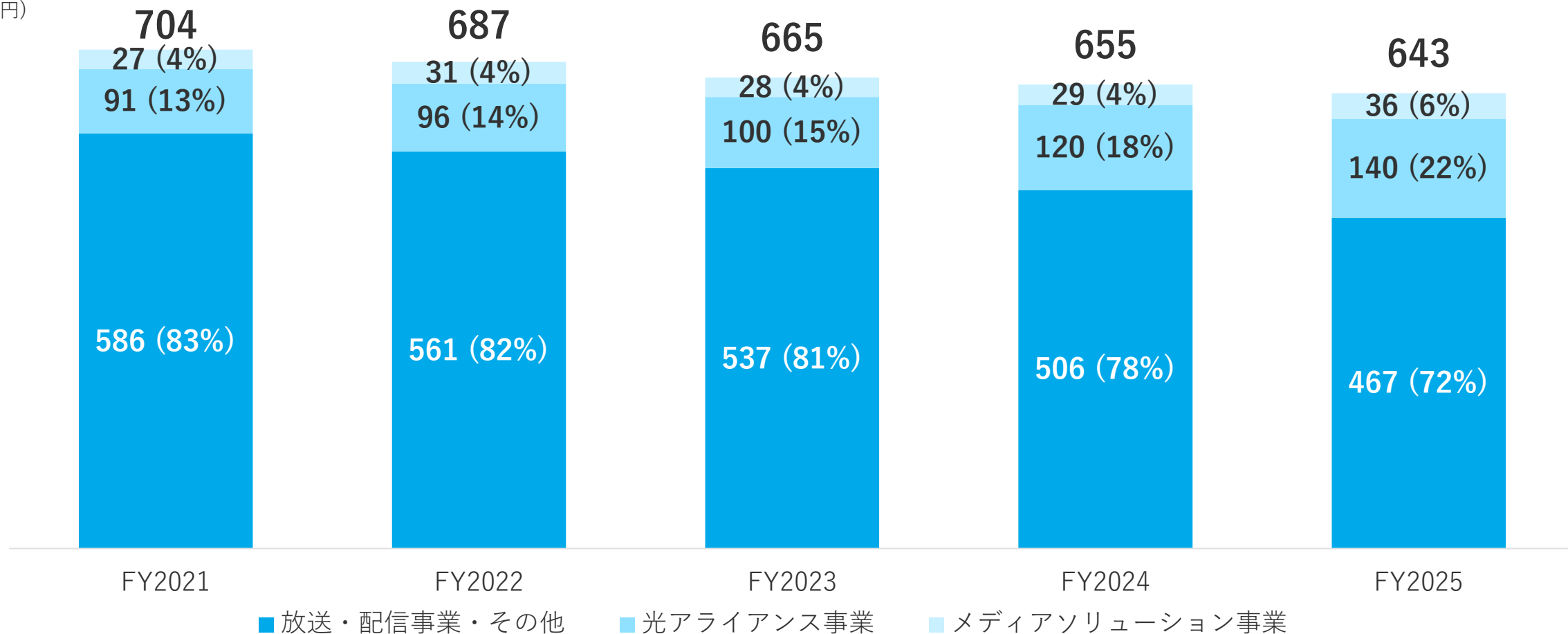
※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

※2024年度より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

※2025年10月度以降、スペースインテリジェンス事業の一部（光学関連）の収益認識を、従来のネット表示からグロス表示に変更

※2025年度以前の数値は、2026年度より実施した宇宙事業からメディア事業への一部サービス移管に伴う組替を反映していない実績値

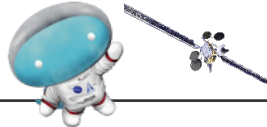
(億円)



※本資料より、開示項目の区分を変更

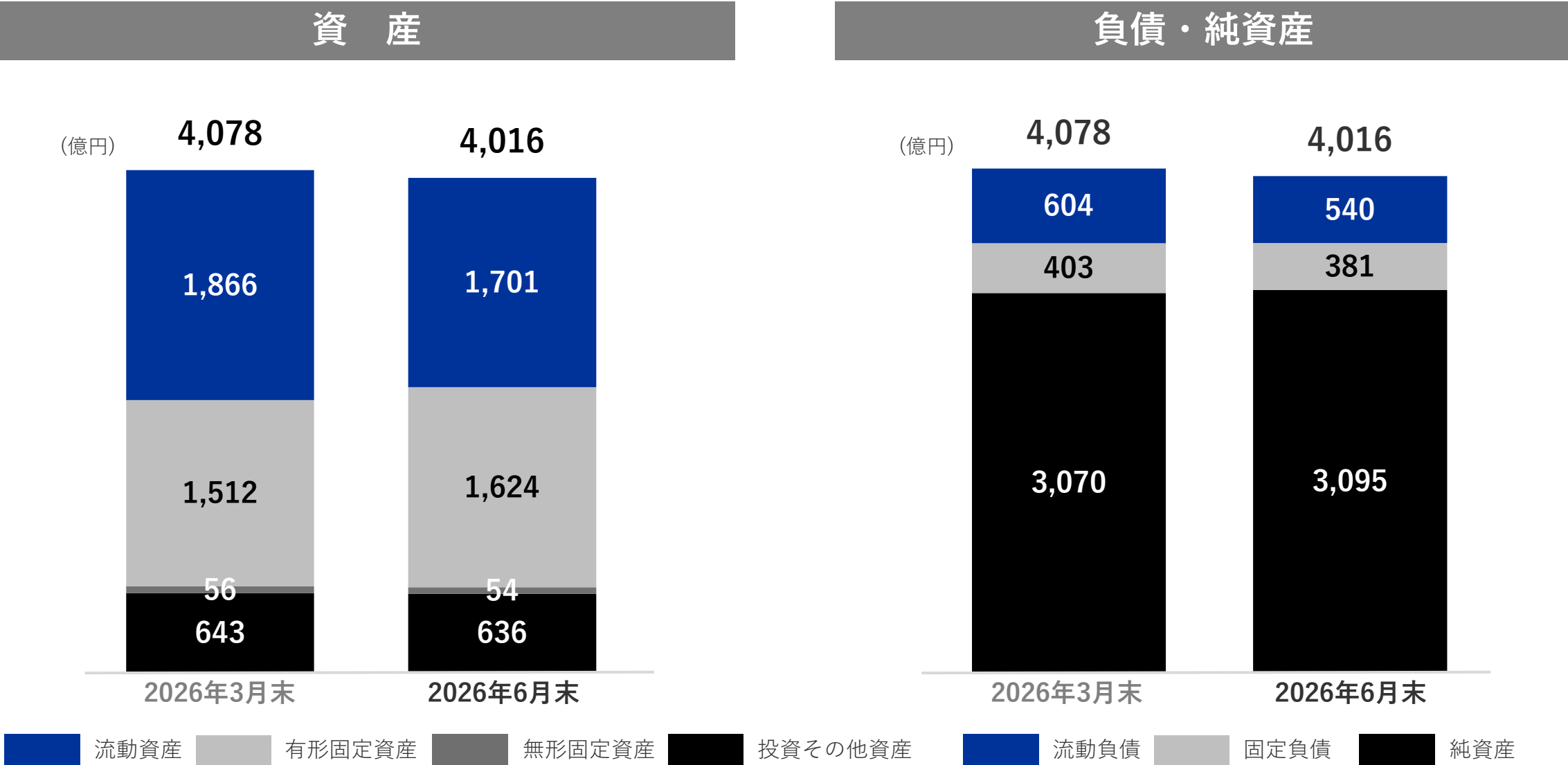
※2025年度以前の数値は、2026年度より実施した宇宙事業からメディア事業への一部サービス移管に伴う組替を反映していない実績値

連結貸借対照表（2026年6月末時点）

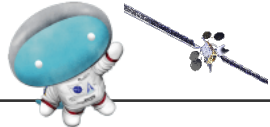


資 産

負債・純資産



主要子会社業績（1Q実績）

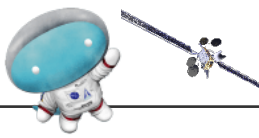


(億円)		SJC (旧SJH)	旧SJC*	SPET	JII	JMC	連結合計 (その他の連結子会社 含む)
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信		衛星基幹放送業務、 衛星一般放送業務 等	北米・アジア太平 洋での衛星回線 販売事業	移動体衛星通信 サービス事業	-
保有割合（%）		100.0		100.0	100.0	53.3	-
営業収益	FY2025 1Q	9	277	29	16	14	298
	FY2026 1Q	309	-	26	19	17	334
営業利益	FY2025 1Q	6	74	3	5	2	80
	FY2026 1Q	98	-	2	8	2	109
経常利益	FY2025 1Q	7	85	3	6	2	82
	FY2026 1Q	114	-	2	10	2	114

SJC：スカパー J S A T 株式会社（旧SJH：株式会社スカパー J S A T ホールディングス） JII：JSAT International Inc.
旧SJC：旧スカパー J S A T 株式会社* JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社
SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント

*2026年4月1日付で、連結子会社であったスカパー J S A T 株式会社を吸収合併し、スカパー J S A T 株式会社へ商号変更

2026年度 投資計画・減価償却費計画



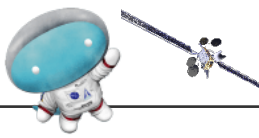
(億円)

投資計画	2025年度 1Q*	2026年度 1Q	2026年度 計画
① 設備投資	70	144	640
内訳： 宇宙事業	59	140	600
メディア事業	10	4	40
その他	0	0	0
② 事業投資	0	8	60
① + ② 投資合計	70	152	700

(億円)

減価償却費計画	2025年度 1Q*	2026年度 1Q	2026年度 計画
減価償却費	38	38	154
内訳： 宇宙事業	27	28	114
メディア事業	11	10	41
その他	1	1	0

*2025年度の数値は、2026年度より実施した宇宙事業からメディア事業への一部サービス移管に伴う組替を反映していない実績値



2025～2027年度計画			2026年度計画
IN	OUT 2,200億円		OUT 700億円
営業CF 1,650億円	収益基盤強化 約1,400億円	JSAT-31/32、Superbird-9 地上局設備、拠点拡張 放送設備	500億円
	事業の進化 約600億円	低軌道衛星コンステレーション 光アライアンス設備	100億円
	新規領域の開拓 約200億円	Space Compass スタートアップ投資	100億円
有利子負債増加 150億円	株主還元 約370億円*	配当 自己株式取得	133億円*1
手元資金の活用 800億円	合計 約2,600億円		合計 約830億円*2
合計 約2,600億円			

*1.金額は支払ベース

*2 「2026年3月期通期決算説明会資料」において、2026年度計画の合計金額に誤りがありました。本資料では正しい金額（約830億円）に修正しています。

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	2026年度 加入目標
新規（IC数：万件）	12.2	11.7	45.1
純増数（IC数：万件）	△1.9	△4.0	△8.6
（スカパー！）	(△0.8)	(△2.8)	(△3.6)
（スカパー！プレミアムサービス）	(△1.0)	(△1.1)	(△4.7)
（スカパー！プレミアムサービス光）	(△0.1)	(△0.1)	(△0.3)
累計加入数（IC数：万件）	258.3	241.4	236.8
（スカパー！）	195.0	183.7	183.0
（スカパー！プレミアムサービス）	57.3	52.1	48.5
（スカパー！プレミアムサービス光）	6.0	5.6	5.4
累計契約者数（契約者数：万件）	199.4	184.6	176.1
光再送信サービス接続世帯数（万件）	288.7	299.3	307.8

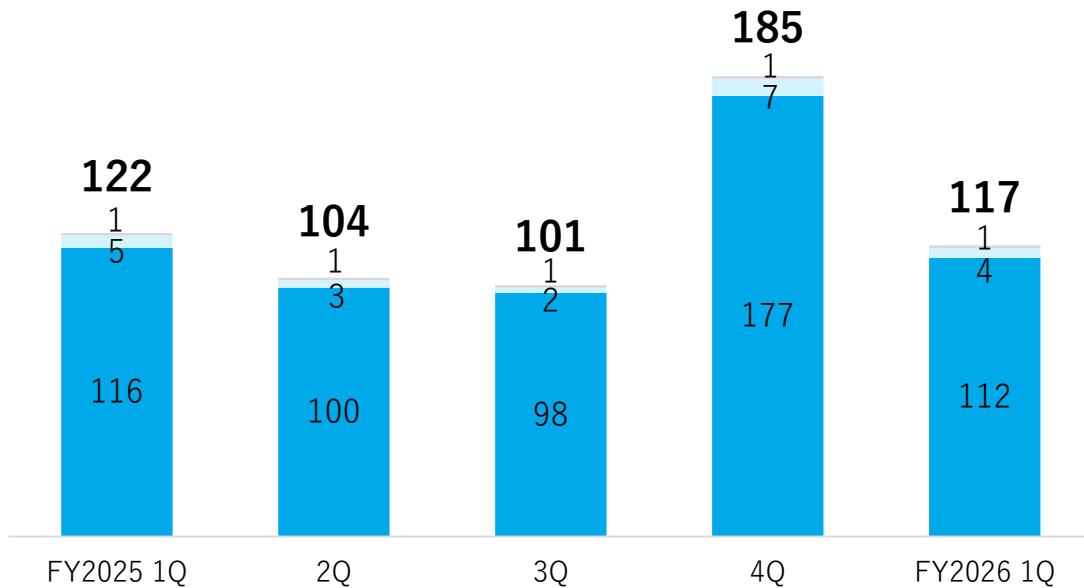
※月次加入件数の詳細については、グループウェブサイトをご参照ください。

ホーム>株主・投資家情報>財務・事業データ>加入件数推移 <https://www.skyperfectjsat.space/ir/financial_data/month_count>

■ 新規加入件数（IC数）

（千件）

■ スカパー！
プレミアムサービス 光
■ スカパー！
プレミアムサービス
■ スカパー！

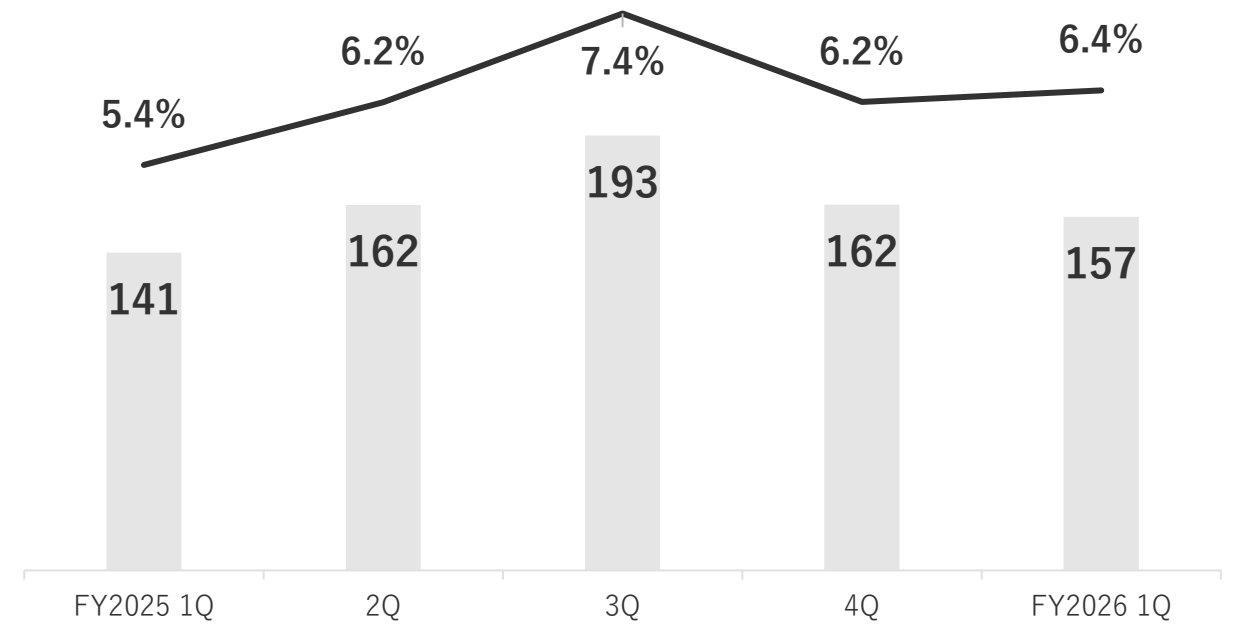


■ 解約件数・解約率（IC数）

（千件）

— 解約率*（四半期毎）
■ 解約件数

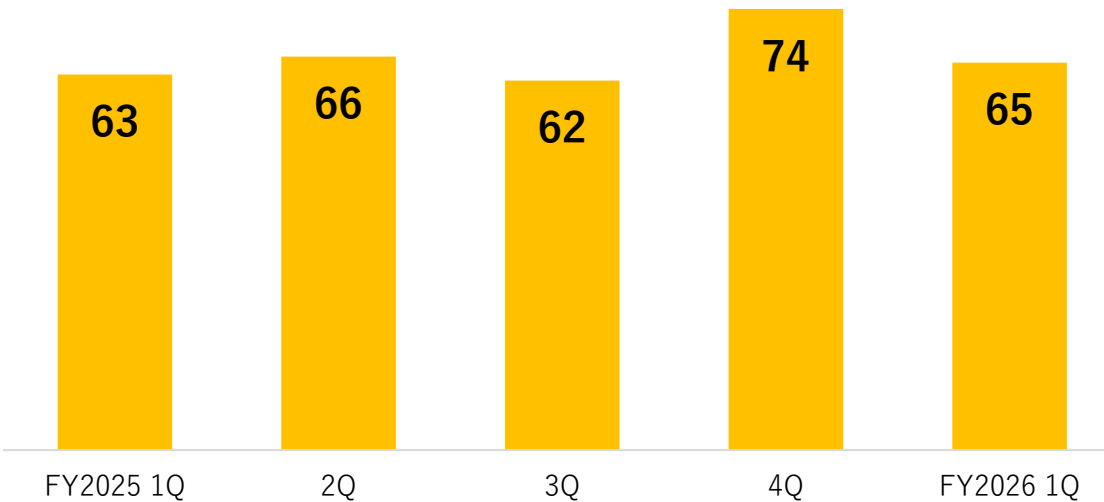
注：すべてスカパー！合計



*各四半期の解約件数合計を前年度末の累計件数で除して算出

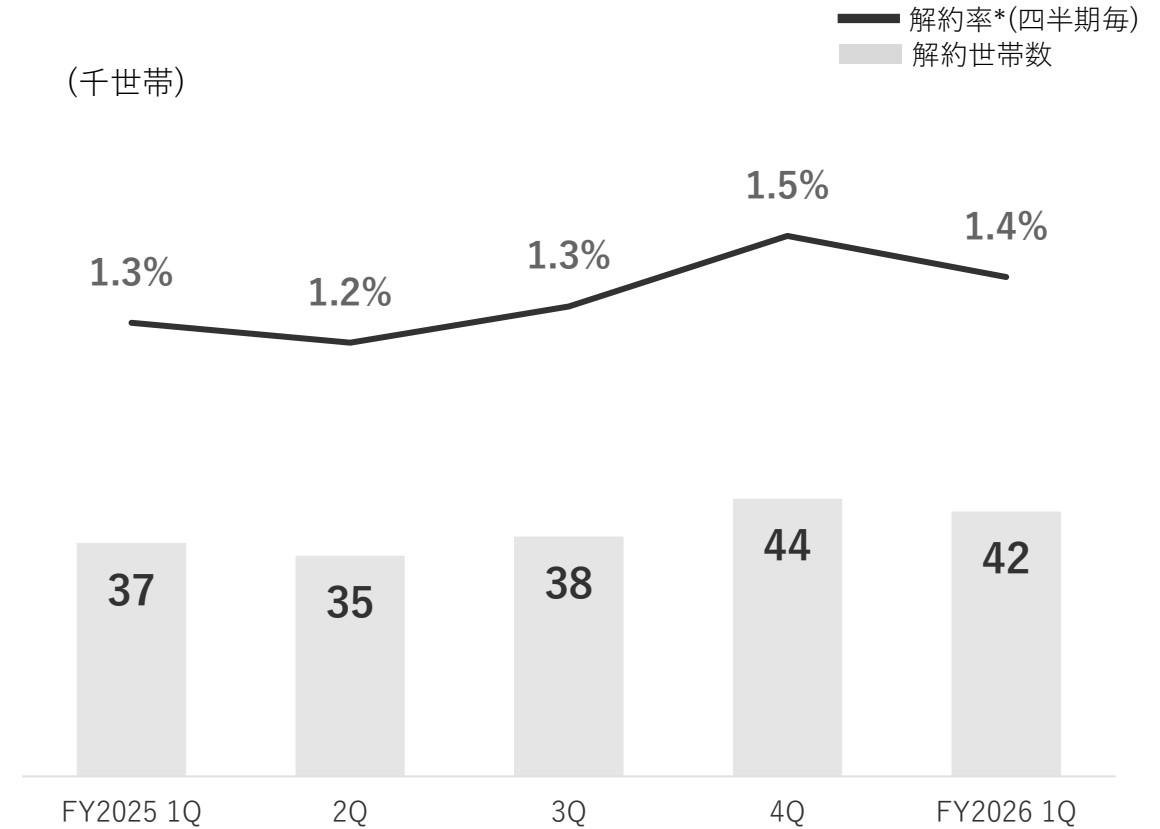
■ 新規接続世帯数

(千世帯)



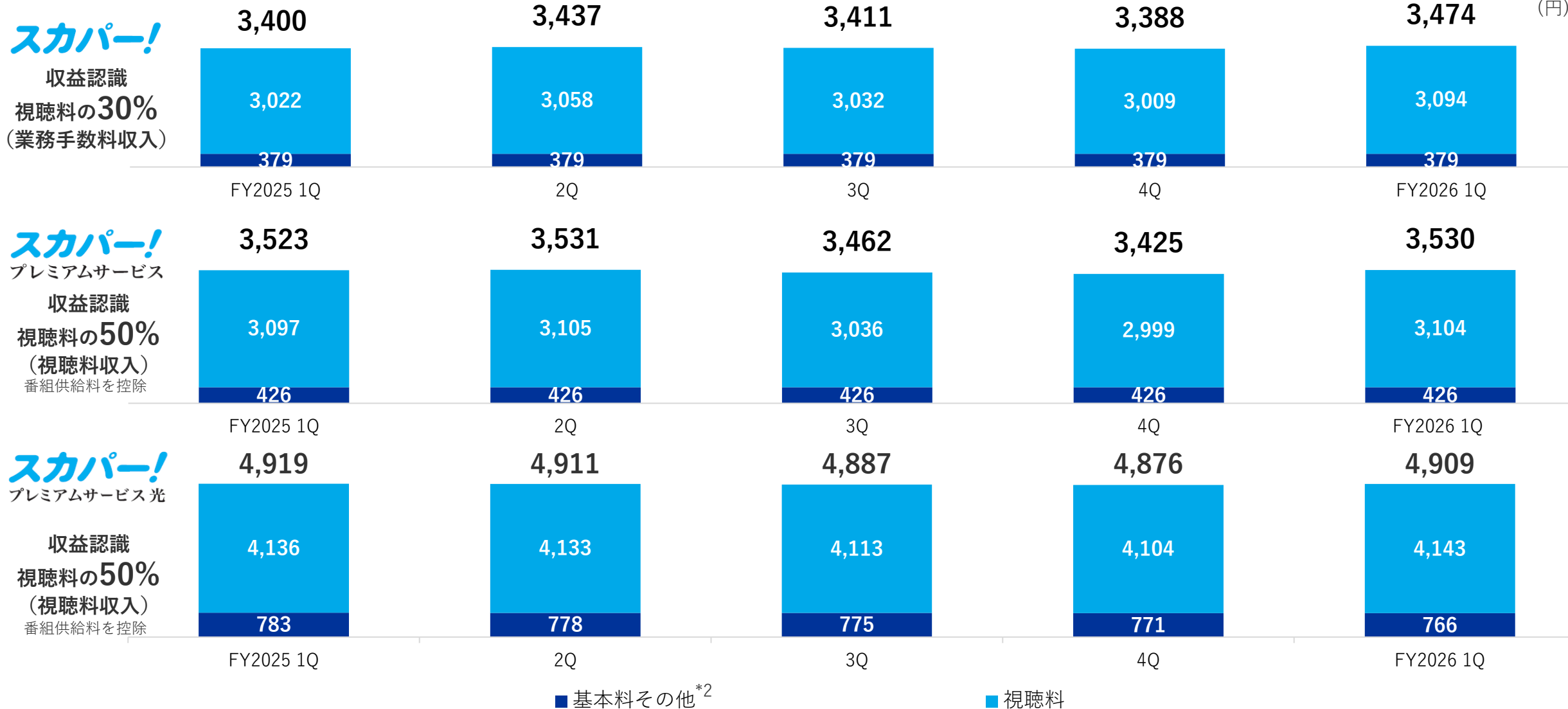
■ 解約世帯数・解約率

(千世帯)



*各四半期の解約世帯数の合計を、前年度末の累計接続世帯数で除して算出

契約者支払単価^{*1}

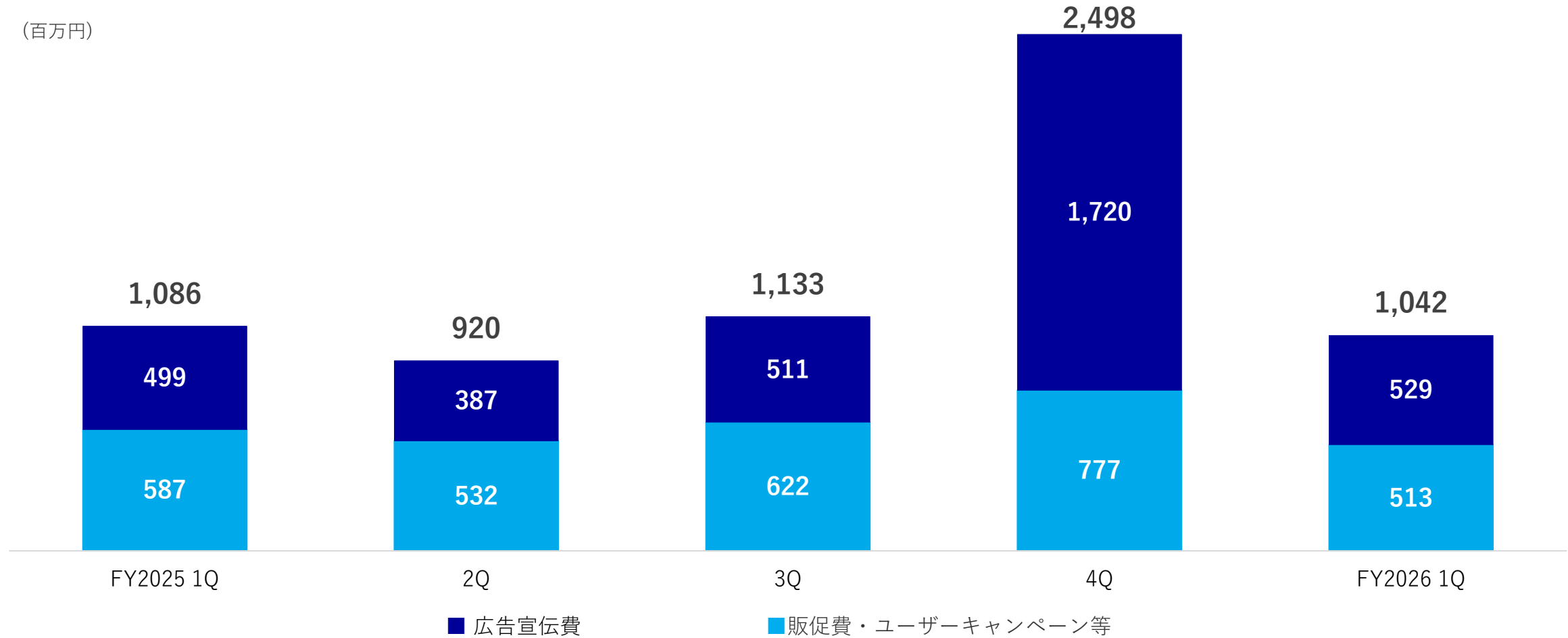


*1. 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しています。

*2. 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)

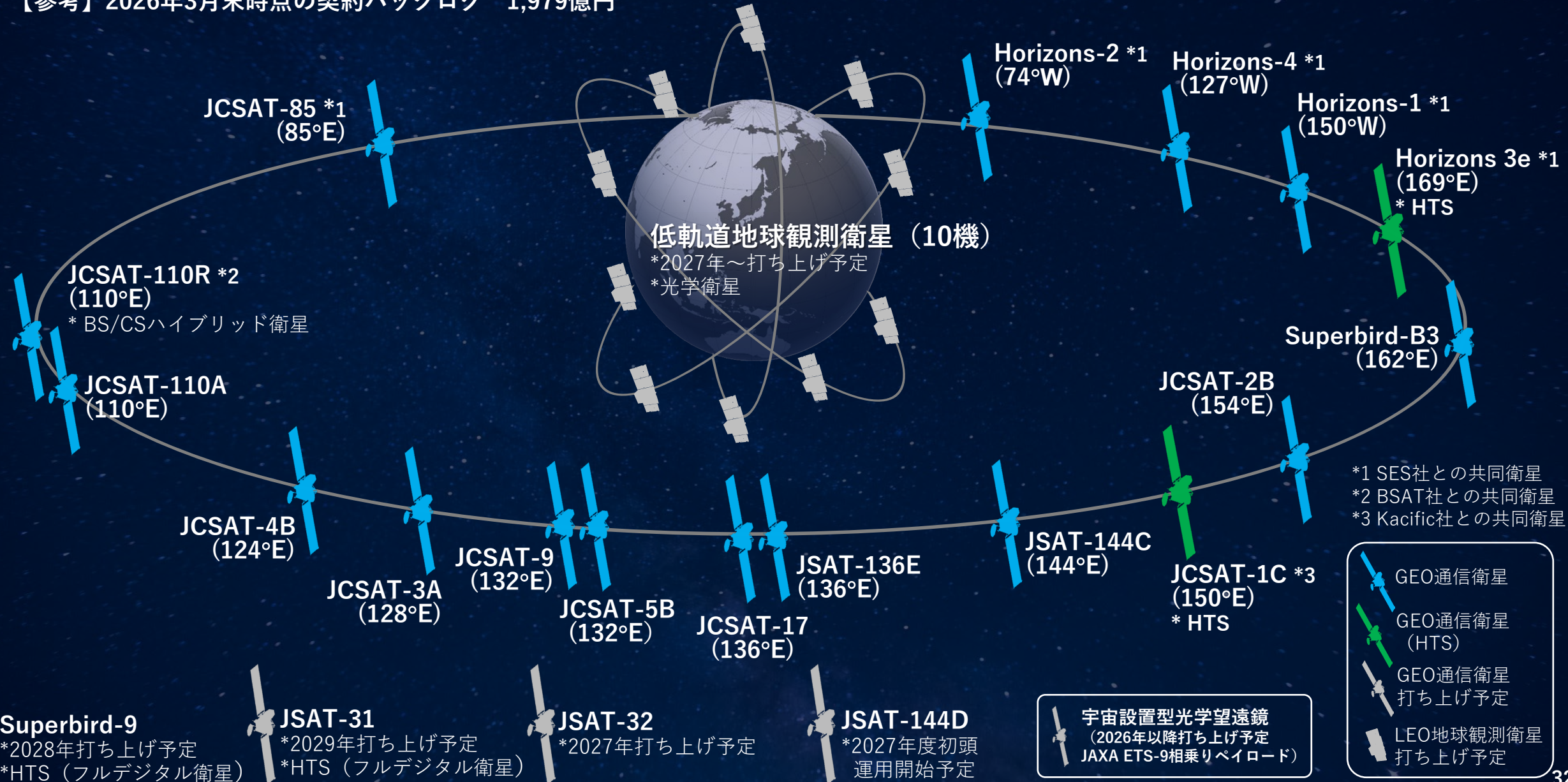


■ 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用

■ 販促費・ユーザーキャンペーン等：スカパー！加入促進のための費用、販売インセンティブ、カスタマーセンター運営費用

北米上空からインド洋上空まで 計17機 のGEO通信衛星を保有

【参考】 2026年3月末時点の契約バックログ 1,979億円

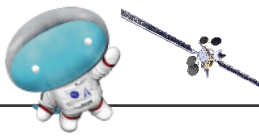


保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機（2026年7月末時点）

衛星		軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日（JST）	打ち上げロケット	主要なカバーエリア・搭載ビーム	主な利用用途
Horizons-1	*1	西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: 北太平洋、北米	通信
JCSAT-9		東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: ー C: ー	通信
JCSAT-3A		東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア C: アジア、ハワイ、ロシア	通信/放送
Horizons-2	*1	西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 北米	通信
JSAT-136E （旧Superbird-C2）		東経136度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本 C: ー	通信
JCSAT-5B		東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本 C: アジア、ハワイ、ロシア東部	通信
JCSAT-85	*1	東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: West IOR, East IOR	通信
JCSAT-110R	*2	東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本	放送
JCSAT-4B		東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	通信/放送
JCSAT-2B		東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本、アジア、パシフィック C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	通信
JSAT-144C		東経144度	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本	通信
JCSAT-110A		東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、インド洋、オセアニア	放送
Superbird-B3		東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、可動ビーム	通信
Horizons 3e	(HTS) *1	東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: アジア、パシフィック C: ゲートウェイビーム	通信
JCSAT-1C	(HTS) *3	東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: アジア、パシフィック、ロシア、HTS Ka: HTS Gateway	通信
JCSAT-17		東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane 5（Arianespace）		通信
Horizons-4	*1	西経127度	Maxar 1300	2023年8月3日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 北米、太平洋	通信

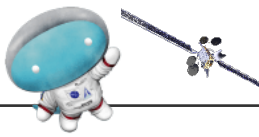
*1. SES社との共同衛星／*2. BSAT社との共同衛星／*3. Kacific社との共同衛星

直近の主なニュースリリース



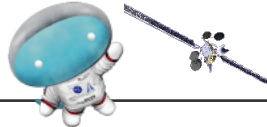
日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2026年8月3日	従業員持株会向け譲渡制限付株式割当としての自己株式の処分の払込完了及び一部失権に関するお知らせ スカパーJSAT
2026年8月3日	スカパーJSAT、QPS研究所の小型SAR衛星の保守運用受託機数を拡大 ～マルチオービット戦略の推進に向けた運用基盤の強化～ スカパーJSAT
2026年7月31日	スカパーJSATグループ Scope1、2におけるカーボンニュートラルを実現 2050年のScope1～3全体のカーボンニュートラル達成に向けて取り組みを加速 スカパーJSAT
2026年7月28日	衛星データ活用で地盤変動を可視化するモニタリングサービス「LIANA®」 だいち4号を活用した新サービスプランを7月28日より提供開始～用途・規模に応じた3つのプランで予防保全の意思決定を迅速化～
2026年7月22日	スカパーJSAT ESG指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」と「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に連続選定
2026年7月17日	当社取締役、執行役員及び理事に対する 株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ
2026年7月16日	ispaceとスカパーJSAT、日本の月探査を支える民間通信インフラ実証に向けた覚書を締結
2026年7月2日	2026年6月末現在 加入件数について
2026年6月30日	スカパーJSAT、JAXA先進レーダ衛星「だいち4号」 観測データの提供を開始 ～高精度・高頻度な観測データにより、インフラ監視や地殻変動モニタリングを強化～
2026年6月25日	コーポレート・ガバナンスに関する報告書
2026年6月25日	支配株主等に関する事項について
2026年6月19日	役員人事の決定のお知らせ
2026年6月19日	当社の取締役、執行役員及び理事に対する 株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ

直近の主なニュースリリース



日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2026年6月10日	スカパー J S A T と Avanti、Kaバンド通信衛星「HYLAS 3」の売買契約を締結
2026年6月9日	スカパー J S A T、DAZNの世界的スポーツイベント番組の制作を支援 ―スカパー東京メディアセンターを制作拠点として提供―
2026年6月5日	徳島県における「フレッツ・テレビ」および「スカパー！」「スカパー！プレミアムサービス光」などの提供開始について
2026年6月3日	スカパー J S A T と バニヤンズ、雲の接近を予測するシステム「KAZAMI™」を共同開発 ～次世代宇宙光通信技術の実用化にむけ、気象衛星「ひまわり」の画像を活用～
2026年6月2日	2026年5月末現在 加入件数について
2026年5月28日	スカパー J S A T、低軌道衛星通信Amazon Leoと 認定再販事業者契約を締結
2026年5月25日	スカパー J S A T、熊本に新ネットワーク管制センターの開設を決定 ～九州初の拠点で、通信容量の拡大と運用の安定性を向上～
2026年5月19日	スカパー J S A T と アストロスケール 次世代宇宙インフラ構築に向け戦略的パートナーシップを締結 ―「軌道上サービス」領域への本格展開を加速―
2026年5月13日	取締役の報酬等（譲渡制限付株式の付与のための報酬額を含む）改定に関するお知らせ
2026年5月12日	人工衛星が捉えた“地球の色”がアパレルに！ ～スカパー J S A T と伊藤忠ファッションシステムが協業し、『SATELLITE CRAYON PROJECT』をGLOBAL WORKにて初の商品化～
2026年5月8日	2026年4月末現在 加入件数について
2026年4月30日	外国人等の議決権割合に関するお知らせ
2026年4月28日	2026年3月期剰余金配当及び2027年3月期の配当予想（増配）に関するお知らせ
2026年4月28日	従業員持株会向け譲渡制限付株式割当としての自己株式の処分に関するお知らせ
2026年4月28日	Space CompassとAirbus Defence and Space、光通信および地球観測ソリューションに関する協力に向けたMOU（覚書）を締結

当社グループが認識する重大リスクについて



詳細は、2026年6月16日提出「有価証券報告書」p.28をご参照ください。

リスク	セグメント	概要
事業投資等に関するリスク	全社	不採算事業や新規事業の見直し・撤退判断の遅れや、出資・投資における管理不全により、経営資源の再配分が進まず、投下資本の棄損や減損が生じるリスク (対策) ・投資前の十分な調査・分析およびパートナー選定・段階的意思決定によりリスクを管理 ・投資進行後も市場環境や進捗のモニタリングを行い、計画見直しを柔軟に実施
重要情報及び個人情報の流出や取扱い、サイバーセキュリティに関するリスク	全社	サイバー攻撃や人的ミス等により、重要情報・個人情報の漏洩やシステム停止が発生し、事業運営や社会的信用の低下、対応コストの発生に繋がるリスク (対策) ・ISMS等の認証取得と管理体制・委員会設置により情報セキュリティガバナンスを強化 ・CSIRT（Computer Security Incident Response Team）運用、多層防御体制の構築・運用により不正アクセスや情報漏えいを防止
衛星通信市場における競争力低下のリスク	宇宙	技術進展や競争環境の変化により、当社の主力製品・サービスの競争力が低下し、収益性に影響を及ぼすリスク (対策) ・長期契約提案や地上設備活用により基盤を強化し、多様なニーズに柔軟対応 ・政府案件参画・海外展開・新技術活用により新たなサービスと収益機会を拡大
通信衛星調達に関するリスク	宇宙	衛星・地上設備等の調達において、納期・性能・コスト面の不確実性が顕在化し、事業計画に影響を及ぼすリスク (対策) ・予備衛星確保・代替調達・長納期品の先行発注により、調達遅延・失敗リスクを低減 ・マイルストーン支払や補償条項、保険契約によりコスト増・損失リスクを抑制
通信衛星の運用に関するリスク	宇宙	衛星フリートの構成や投入タイミングの最適化が困難な状況において、サービス中断や顧客対応コストが発生するリスク (対策) ・予備衛星のバックアップ運用により障害発生時も迅速にサービス継続 ・他衛星への切替・フリート運用によりサービス停止や収益影響を最小化
放送・配信事業の事業性低下に関するリスク	メディア	視聴環境や顧客行動の変化により、放送・配信事業の収益性が低下するリスク (対策) ・主力商品強化やコンテンツ拡充、料金施策により契約数維持・増加を図る ・配信・光再送信等のサービス展開強化により収益基盤の維持・拡大を推進

※上記に記載するリスクは、当社グループが重大リスクであると認識している項目について記載したものです。なお、当社グループが直面する全てのリスクを網羅したものではありません。
当社グループが現時点では認識していない未知「のリスクや、今後その重要性が増大し、当社グループの事業、財政状態、経営成績等に重大な影響を及ぼすリスクが生じる可能性があります。

スカパーJSATグループウェブサイト

<https://www.skyperfectjsat.space/>



IRニュース

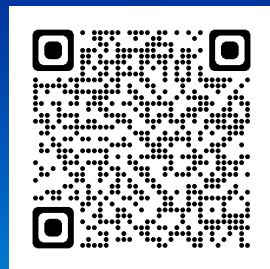
https://www.skyperfectjsat.space/ir/ir_news

メール配信サービスはこちらよりご登録ください

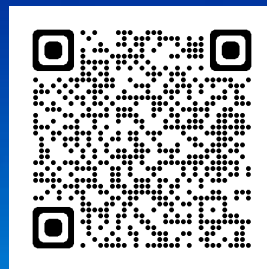
<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を電子メールでお届けします

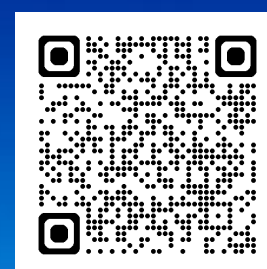
X



LinkedIn



YouTube





未知を、
価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT